

日本遺産「葛城修験～里人とともに守り伝える修験道はじまりの地」

茅葺住宅が迎える天空の里 こうの 神野と修験

町北部の山上、かつらぎ町東谷にある集落、神野。秋には串柿の景色を見に多くの人を訪れる場所だ。

峠を越えれば和泉市で、古くから交通の要所として、大阪へ産物を提供する村として栄えていた。

172年前、修験道の大きな宗教的権威の一つである京都の聖護院宮が、役行者1150回忌法要の帰途に立ち寄り、神野の里人が昼食を献じた。阿弥陀堂には修験者による墨書きも残る。

今も神仏の行事を大事にしている神野。和歌山県夕日百選に選ばれた景色も抜群。古に思いを馳せ、神野の清々しい風に吹かれながら、春の午後を過ごしませんか？



神野集落からの夕日（和歌山県夕日百選）



阿弥陀堂（登録有形文化財）



的場家住宅（登録有形文化財）



天女山正楽寺 弁天堂

■日 時：令和3年 **3月28日**（日）13：30～16：00

■場 所：こうのあみだどう 神野阿弥陀堂（かつらぎ町東谷） ※駐車はスタッフが誘導します。

■内 容：「神野と修験の関わり」お話：的場孝至さん（神野）
→天女山正楽寺、弁天堂、的場家茅葺住宅等見学
→神野の景色を見ながら情報交換

■参加費：1,000円（お茶、資料代）

■対 象：和歌山県内在住で、いろいろな方と情報交換したい方、
かつらぎの観光について語り合いたい方 など

■定 員：10名。 事前申込・先着順。 締切3月19日（金）

■主 催：かつらぎ町観光協会

日本遺産

「葛城修験～里人とともに守り伝える修験道はじまりの地」とは

令和2年6月、かつらぎ町など 19 市町村にまたがるストーリーが、日本遺産に認定されました。和泉山脈から金剛山地までの一帯は、古くから「葛城」と呼ばれます。修験道の開祖と言われる役行者がはじめて修行を積んだこの地は、世界遺産の吉野・大峯と並ぶ「修験の二大聖地」と称されています。そしてその修行にはいつの時代も、周辺に暮らす人々との深いつながりがありました。行場である宿には、経典を埋めた経塚があり、役行者が埋納したとされる葛城二十八宿が有名ですが、村の信仰を集めるお堂等にも、修験者が立ち寄った記録等が遺されています。

日本遺産とは…

地域の誇る文化財によって語ることのできる、魅力のあるストーリー。地方自治体が文化庁から認定を受け、その魅力を活かした様々な事業を展開していく制度です。現在、全国で 104 件のストーリーが認定を受けています。



■神野阿弥陀堂

(京奈和自動車道「かつらぎ西」ICより約 30 分)

道が大変狭いです。お知り合いといらっしゃる場合は、なるべく 1 台に乗りあって来て下さい。



■申込方法：FAX、Eメールまたは電話にて、お名前、連絡先等をお知らせください。

※3 日前から検温をし、体調管理をお願いいたします。当日も検温いたします。

■申込先：かつらぎ町観光協会（かつらぎ町役場 産業観光課 商工観光係内）

〒649-7192 かつらぎ町丁ノ町 2160 電話 0736-22-0300（役場代表）FAX 0736-22-6432

Eメール sankan-syoukoukankou@town.katsuragi.wakayama.jp

かつらぎ町観光協会情報交換会 FAX 申込書

お名前	ふりがな	所属団体	
ご住所	〒	電話	
		携帯	
Eメール			
聞いてみたいこと、質問など			

かつらぎ町観光協会情報交換会とは… かつらぎ町の観光に携わる方や興味のある方が出会い、ざっくばらんに情報交換できる場です。H28 はテーマを設けずに 2 回開催、H29 は「新城水と緑の美術館見学」、「はなぞの温泉花圃の里見学」、H30 は「ワインづくり」、「語り部団体の交流会」、H31 は「妙寺」と毎年テーマを変えて実施しており、R2 のテーマは「日本遺産～里人とともに守り伝える修験道はじまりの地」としました。